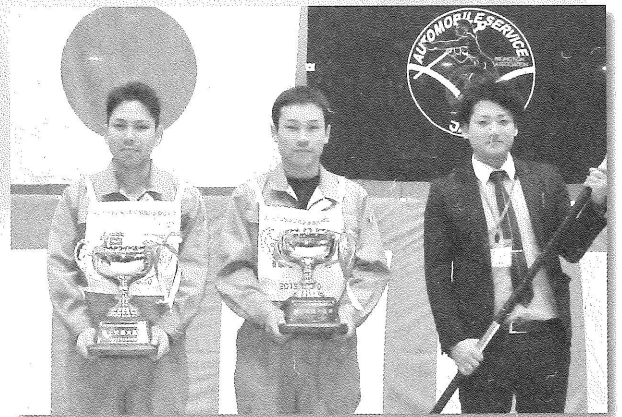


# アメリカ西海岸・ハワイ 自動車事情視察団参加レポート

第20回全日本自動車整備技能競技大会  
優勝 福岡県自動車整備振興会チーム

平成27年10月10日に開催された「第20回全日本自動車整備技能競技大会」において見事優勝を果たした福岡県自動車整備振興会チームの谷口修平、常岡兼次両選手並びに福岡県整振の富安祐一郎氏は、副賞の「海外研修視察旅行」として、去る3月28日から4月6日までの10日間、「2016年アメリカ西海岸・ハワイ自動車事情視察団」に参加し、このほど、アメリカ見聞の感想文が寄せられたので紹介する。



左から常岡氏、谷口氏、富安氏

## (有) 藤壺自動車工業 谷口 修平

今回、アメリカ西海岸・ハワイ自動車事情視察団のツアーに「第20回全日本自動車整備技能大会」で福岡県代表として出場し、全国優勝を果たした副賞として選手2名と監督の3人で参加させて頂きました。視察日程は、4月28日～5月6日までの10日間！まずロサンゼルスに2泊、ラスベガスで2泊、そしてハワイで4泊と言った内容でした。

日本からロサンゼルスまでの飛行時間約10時間！トイレに立つ以外椅子に座ったままでは中々辛く、目の前にあるモニターで映画や音楽を見て聞いて気を散らすのが精一杯で寝むりに着いても所々目が覚めながらのフライト。それでもいつかは行ってみたいと夢見ていたアメリカ合衆国への気持ちでいっぱいでした。

無事、長かった空の旅も終え第1到着地点のロサンゼルスへ足を踏み入れた途端に全てが英語に変わり、ついにアメリカに来たんだなあと実感しました。



思っていた以上に日本車が多かった（フリーウェイ）

入国審査を通り抜けて参加者と集合して空港の外へ出ると、思っていた以上に日本車の多い事！特にプリウスですね。日本車の性能の良さが感じられ嬉しく思いました。

その後、専用バスにて市内を見て回りながら途中昼食（ボリューム満点のサンドイッチ）を頂き、グローマンズ・チャイニーズ・シアターへ行き、そこから見えた「HOLLY WOOD」サインには感激しました。

そして、アカデミー賞の場所と言う事で、沢山のハリウッドスター達のサイン入り手形・足形のプレートが石畳の様に敷き詰められていました。観光客の数も凄かったです…。

その後、ホテル（インターコンチネンタル・ロサンゼルス・センチュリーシティー）へチェックインした後、夕食会にて参加者の皆さんと名刺交換会を交わし、あっと言う間の1日目終了。

次の日は、ロサンゼルスでのディーラー視察で Penske Chevrolet Cerritos に訪問させて頂き、まず目に飛び込んで来たのが、敷地のデカさ！それに、新車・中古車の膨大な数！日本のカーディーラーでは中々見られない光景でした。

そして案内され中に入って行き、支配人による会社説明を受け、通訳の方を通し参加者との質問のやり取りをしました。やはり、車検制度は無くても「スモッグチェック」排ガステストが2年ごとに義務付けられていて、スモッグチェックをパスしないと翌年の登録ができないといった決まりのようです。州によって多少違



支配人より米国の制度、販売方法などが説明された

いはあるみたいですが。

あと、車の販売に関してはテレビCMやカー雑誌よりもインターネットを使った広告が90%以上で、アクセスされた件数をチェックして、今どんな車種が売れ筋で、買い替えを考えているユーザーに対してサービスを提案したり、キャンペーンを行ったりと、ネット販売に力を入れている感じでした。しかも、お店の展示場に膨大な在庫車をおくのも、同じ車種でカラーリングの違いやグレード・オプション品付車の違いを数多く揃える事で、来店されたお客様に実際見て決めて貰うようにとの事で広い敷地が必要なんだなあと感じました。

次に、Norm Reeves Honda へ訪問に向かいそこでもやたら広い敷地に日本でもお馴染みのホンダ車がずらりと並んでいました。会社の中を案内して頂き、工場内のピットを見て、各ピットごとに診断機とノートパソコンが置いてあり、広くて綺麗だった事が印象的で点検で入って来る車両もずらりと並んでいました。

3日目は、ロサンゼルスからラスベガスへ飛行機で移動し、空港内にも関わらずスロット台が！さすがラスベガス！！そして、また専用バスに乗り込み次のホテル（モンテカルロ・リゾート&カジノ）までの道中ラスベガスの繁華街をガイドさんの説明を聞きながら向かいました。ホテルに着き、夕食終え街を歩いたり、噴水ショーを見に行ったり、もちろんカジノで初スロット回して遊び疲れて就寝…。



広い敷地内にはお馴染みのホンダ車がずらり

4日目は少し離れた所にある大手ディーラー Findlay Toyota へ視察訪問に行きました。ここは部品倉庫まで完備しており、ほぼ全てのパーツをストックしていて、修理に必要な部品をすぐに交換できるように備えている。その他にもパーツ販売ショップもあつたりと驚きました。整備工場も今回見学した中で一番大きく大勢のメカニックとリフトの数が凄かったです。

アメリカでは、整備士が使う工具、機械など持ち込みの物がほとんどらしく、給与に関して勤続年数や経験と言うより、整備士の技量によって稼ぎが違ったり、好きな曲を聴きながら作業している姿は何となく会社のピットごとに各整備工場があるような感じにも見えました。

日本では自動車整備士になる人が年々減っていて、入社したとしても続かなかつたり、全く関係無い職種に転職して行つたりと人材不足なのに対し、アメリカではそれ程無くどちらかという自動車整備士の技術職は人気が高く求人困る程ではないという事を聞き、日本の整備業界ももっと盛り上がって欲しいと強く思いました。



Findlay Toyotaにて記念撮影

ちなみにこの日の視察は午前中で終わる為、午後からはフリー！旅行に行く前に話してた「アメリカで車運転してみたいね」で事で、それならルート66を走ろうと、急いでレンタカーへ行きそこで選んだ車が”マスタング”しかも真っ赤なオープン！！もちろん運転するにあ

たってみんな日本で国際免許を取得済み！右車線走行に初めは戸惑いながら車を走らせラズベガスを出て間もなくすると、アメリカ映画で見るような周りは何も無くひたすらルート66を目掛けて進んで行き、アリゾナ州キングマンからルート66に乗りセリグマンと言う町まで行きました。

そこはディズニー映画「カーズ」のモデルとなった車達が幾つもあり写真をたくさん撮りました。あまり時間も無く日が暮れてきたので帰路へ。走行距離にして約600キロ近く走りました。とても楽しかったです。



ディズニー映画のモデルとなった車

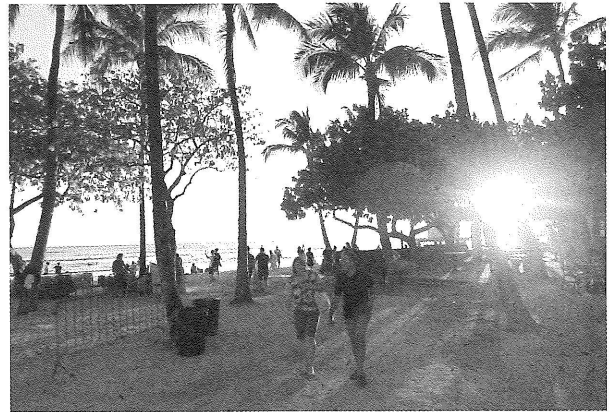
5日目は早朝に最終視察地のハワイへサンフランシスコ国際空港を経由しての移動でした。ハワイでは4泊あり、1日目は移動とショッピング。

2日目にBMW of Honoluluへ訪問させて頂き、そこでもたくさんの在庫車がずらりと並んでいました。立体駐車場も大活躍！店内に入るとBMW i8がお出迎え。その他にも各シリーズの車が飾ってありました。

支配人との話の中で、ここBMWの営業時間が朝5時から曜日変わって朝4時30分に閉店と30分しか閉まらない事にビックリしました。理由は、夜中しか来れないお客様がいるからという事もあり、従業員も交代制シフトで出勤しているそうです。いかにお客様ニーズに対応して行くかを重要視しているから出来る事だと思います。



店内に入るとBMW i8がお出迎え



ホノルルのビーチ

ハワイ3日目は、空きの1日の為オプションツアーを申し込んでいたオアフ島周遊バスツアーに参加して、1日ゆったりバスに揺られ綺麗な海を眺めながら周って来ました。

そしてハワイ最終日は、デビッド・ロルフ氏によるセミナーを受けました。講演が始まり、ハワイ州の販売状況や最近のトレンド、環境問題への取り組みなどの話に次いで、数チームに別れ輪投げゲームをしました。各チームで時間内にいかに多く点数を稼ぐか競い合う中で思いついたアイデアや他のチームの良い所を体感する事の大事さを狙った目的のゲームでした。

ゲーム後は、英字新聞でユーカリの木?を作ったりと楽しいセミナーでした。その他にもハワイでは、ショッピングモールに行ったりビーチに行ったり、日本では経験できない実弾射撃を体験しに行ったりと、充実な毎日でした。長いようであっという間だった10日間、最高に楽しく良い思い出が出来ました!

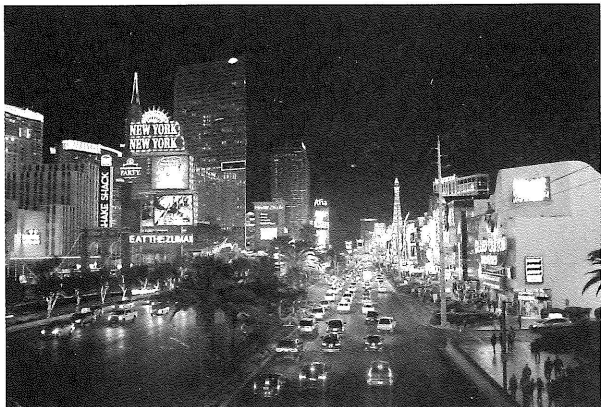
最後になりますが、仕事が忙しい中快く「楽しんでおいで～」と言って送り出して下さった会社社長を始め従業員皆さんに感謝致します。有難うございました!

## 西鉄エム・テック(株) 福岡工場 常岡 兼次

第20回全日本自動車整備技能競技大会優勝の副賞として、海外研修視察旅行に行ってきました。日程は3月28日から4月6日までの10

日間、人生初の海外旅行でした。

まずは日本を立ちロサンゼルスへ、初の海外旅行ということもありまず入国審査で戸惑いま



イルミネーションでガラガラになり、まさに「眠らない町」

した。どうにか無事に入国審査を終えて、空港の外に出ると日本車が多く走っているのに驚きました。

市内業務視察では、ビバリーヒルズを車窓から見たり、ハリウッドの文字を見に行き興奮しました。観光を終えホテルへ、時差の影響もあり疲れていたけど、眠れず福岡から一緒に行っていた富安さん、谷口さんとスーパーまで買い物に行き、初めての買い物をしました。勿論英語は話せません。わからないながらもどうにか買い物はできました。

次の日シボレーのディーラー視察へ、マネージャーの話聞きアメリカの規模の大きさ、日本とは違った考えもあるんだと実感しました。

次の日にラスベガスに移動しました。砂漠に作られた都市という事もあり、空港の周りには道路しかなく、日本では見れない様な景色でした。市街地、宿泊ホテルが建ち並ぶ所まで来ると、景色はガラッと変わり、各ホテルによって、ヨーロッパ風で凱旋門があったり、エジプト風でピラミッドの形をしたホテルだったり、小さな自由の女神があったりとかなり賑やかになりました。夜になるとイルミネーションでキラキラになり、観光客の多さでさらに賑やかになりまさに「眠らない街」でした。

宿泊するホテルのすぐ近くにベラージオホテルの噴水ショーがあっあっていて、それを見に行き、毎日こんなすごいショーがある事にビックリしました。またホテルにはカジノもあり24時間自由に楽しめるという事でせっかくラスベガスに来た記念に楽しみました。

次の日にトヨタのディーラー視察へ、ここでは一般のお客様が来店してから、直接修理内容を現車を見ながら問診する専門のスタッフもいて凄いなと思いました。また、車を購入していただいたお客様には、セールス、メンテナンス、サービスそれぞれの担当者を決めて紹介し責任を持って車の面倒を見るという様な体制を作っているらしく、お客様からの信頼が一番大切だと改めて思いました。



セールス、メンテナンス、サービスそれぞれの担当者を決めて車の面倒を見るという

昼からはレンタカーを借りてアリゾナ州のルート66を目指して富安さん、谷口さんと3人でドライブへ行きました。車はフォードマスタング！！コンバーチブル車に初めて乗りました。道中フーバーダムや広大な砂漠の中の真っ直ぐな道をひたすら走りました。ルート66、キングマンからセリグマンへ、西部劇の世界に来たような景色に感動しました。帰りにホテルの近くのガソリンスタンドへ、ここで問題が発生！！セルフなので機械の使い方がわからない！隣に来た親切なおじさんに身振り手振りで話しかけ助けてもらいました。



真っ赤なマスタングに乗って出発

次の日ハワイ、ホノルルへ移動、ハワイには観光で来ている日本人の方々も多く、ほとんどのお店で日本語が通じて話のできたので助かりました。

ハワイではオアフ島一周ツアーへ行き、観光

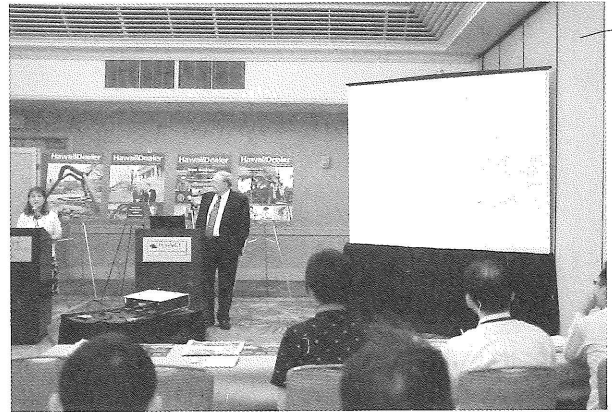
名所を周りました。綺麗なビーチ、広大なパイナップル畑、ダイヤモンドヘッド、HITACHIのこの木なんの木等いろいろ見れて楽しかったです。またビーチで泳いだり、ビーチに沈む夕日を見たりゆったりと流れる時間を楽しみました。



この木なんの木

ホノルルではBMWのディーラー視察へ、ここでは12月の新車販売が一番多いという事で、しかもクリスマスプレゼントで購入する人が多いという話を聞いてやはりアメリカは凄いなと思いました。

またハワイ自販連のセミナーではチームでゲームをし、チーム内で意見を出し合えば様々な考えがありいろいろな事が出来るということを改めて思いました。



クリスマスプレゼントで購入する人が多いという

最終日には綺麗な夜景の見えるレストランで夕食を食べ、拳銃を撃ちに行き日本ではできない経験をしました。

すべての視察を終えて思った事は、やはりアメリカという国の規模の大きさは凄い、考え方は日本とは少し違うが、いろいろな考え方があるんだという事がわかり貴重な経験になりました。また観光もすごく楽しく、有意義な研修旅行になったのでよかったです。

また、この視察旅行に行けたのも、相方の谷口さん、監督の富安さんをはじめ、会社の方々、粕屋支部の方々、福岡県整備振興会の方々等たくさんの方の協力があったので行けました。本当にありがとうございました。また、若い方々にもこの様な貴重な経験ができるチャンスがあるので、進んで頑張ってもらいたいと思いました。

## (一社) 福岡県自動車整備振興会 富安 祐一郎

昨年10月に行われた第20回全日本自動車整備技能競技大会優勝の副賞として、3月28日から4月6日の8泊10日で、海外視察研修へ参加させていただきました。一般社団法人日本自動車販売協会連合会主催の研修旅行に同行し、日本各地のディーラーより参加があり計26名での旅となりました。今回の表題は“2016年アメリカ西海岸・ハワイ自動車事情視察団”。ロサンゼルス、ラスベガス、ホノルルでの現地

ディーラー視察及びセミナー受講、その道中でのバス観光と盛り沢山の内容でした。

### 【出発～ロサンゼルス(2泊)】

初日は成田空港に集合し、チェックインを済ませ空港内の会議室で旅行会社より日程や出国に関する説明を受け、無事に帰国できることを祈りつつ搭乗へ。

ロサンゼルス空港に到着し現地を案内してくれるガイドさんと合流し、空港を出て目の前に



成田空港から出発

アメリカの景色が広がります。周りを見渡すと案外日本車が多く、特にHVのタクシーが目立ちました。そのほかの車両はさすがアメリカ、SUVやワゴンなど大型の車両が多く女性ドライバーの多さにも驚きました。また軽自動車は一切走っておらず、ガイドさんに聞いてみるとアメリカのユーザーの走行距離は平均で日本の約2倍。長距離運転が多いこともあり、乗り心地などの面から軽自動車は受け入れられない。さらにロサンゼルスでは、ガソリンが1ガロン(4ℓ)約250円のため燃費よりも乗り心地が重視されるとの事でした。

観光名所へは専用バスで移動し、ヨットハーバー、サンタモニカ、チャイニーズシアターを周りホテルへと向かいます。

初日は全員参加の夕食会で自己紹介、名刺交換を行い、選手2人は旧車や大型車を扱っていることをアピールし、話しにも華が咲き少しず



夕食会にて

つみんなと打ち解けていきました。面子は様々で代表取締役やサービスの部・課長、またディーラーの技術コンクールで優秀な成績を取めた副賞として参加している若い方も数名いました。

食事後選手2人とスーパーへ買い物に行き、初めてのドルを使用。レジで順番を待っていると客の方はあまり気にせず、おしゃべりに夢中の店員などの様子を見ていると日本に比べ雑な印象を受けました。

2日目はセリトスのオートモールにある“Penske Chevrolet Cerritos”と“Norm Reeves Honda Cerritos”に視察へ。道中、ガイドさんが色んな話しをしてくれました。まずフリーウェイという名前の通り高速道路が全て無料だということ。維持は軍費でまかなっており、いざというときに戦闘機の滑走路として使用するそうです。

次に車検制度がないこと。ただしカリフォルニア州では2年に1度レジストレーションという再登録が必要で、その際排ガス検査を行い基準に適合すると証明書が発行され、ナンバープレートの右上に赤色のステッカーが貼られるそう。このステッカーが無い状態で道路を走ると罰金が科せられるようになっていました。

オートモールに到着し周りを見渡すと様々なディーラーがあり、店舗に在庫されている桁違いな車両の数に驚きました。聞けばこのオートモールは全米一の大きさとユーザーはここに来れば色んな車を見て気に入ったものを買えるという感覚で来るそう。

1社目のシボレーでは在庫が新車・中古車合わせて400台。ユーザーはローンで購入するのがほとんどで、自社のローン部門で通るかどうかをその場で判断しているとのこと。そのようにして早く決断しないと自社では買ってもらえないため、ほとんどのディーラーではこの形態になっているそうです。

またアメリカではインターネットでの車両販売が盛んに行われ、売り上げの30~40%を占めていることもあり力を入れている分野とのこと。



新車・中古車合わせて400台の在庫があるという

一例を挙げると、まずクリック数が多い人にターゲットを絞りその後のクリック率を把握、さらに販売まで至ったかどうかを調べ、より効果的なキャンペーン内容に変更していく。という徹底したリサーチが行われていました。

またサービス面では走行距離などに応じて顧客に連絡し、オイル交換などをきっかけに入庫につなげているそうです。

そのほか印象的だったのは、顧客の誕生日にも連絡を入れて顧客と少しずつ信頼関係を築いていくと言われていたこと。個人的に感じていた大雑把なアメリカ人のイメージが変わっていききました。



話を聞いてみてアメリカ人のイメージが変わった

### 【ラスベガス (2泊)】

3日目はロサンゼルスを後にし、ラスベガスへ移動。私のラスベガスのイメージはやはりカジノ。そんなイメージ通りに空港内にはスロッ

ト台が並んでいるという期待を裏切らない造り。ラスベガスはメインの大通りがあり、その両サイドに豪華なビル群が立ち並ぶといった街並みで、バスの車窓から眺めていると、ピラミッドにスフィンクス、自由の女神、エッフェル塔などが目に飛び込んできました。ガイドさんの話しではそれぞれの建物はテーマに沿って建てられていて、遊びの感覚が色濃くあるそう。確かにその景観は非常に面白いものでした。

ホテルに着いて驚いたのは、1階全てがカジノのフロアになっていたこと。ラスベガスのホテルでは常識だそうで、宿泊客はもちろん観光客にも楽しんでもらうため様々なスロット、テーブルゲームがありました。大通りに出ると結構なボリュームで音楽が鳴り響いています。初めは近くのショップからと思いましたが、しばらく歩いてもずっと変わらない音量のため、スピーカーを探してみると歩道の茂みの中に数十メートル間隔で置いてあり街全体が賑やかでした。夜はそれぞれの建物のライトアップでこれぞラスベガスといった顔に変わり、歩道は深夜まで多くの人でごった返していました。有名な映画にも使われた噴水ショーを見に行き、ホテルでカジノに興じましたがあえなく貯金する結果となり撃沈されました。



4日目に“Findlay Toyota”へ移動。ここでもシボレー、ホンダと同様、顧客満足度重視中でも“お客様と誠実な態度で接し深い関係づくり”をしていき、世界でトップクラスの雰囲気



をつくっていく”と店舗の壁に大きく掲げられた社訓が印象的でした。

#### 【ホノルル（4泊）】

5日目はホノルルへ。この旅で一番滞在時間が長かったのですが、日本人観光客が多く、お店の人も日本語がある程度話せるためコミュニケーションが取りやすく比較的過ごしやすい環境でした。

6日目に“BMW of Honolulu”へ。担当者が「初めにBMWの魂をご覧ください」と満を持して連れて行かれたのがi8のショールーム。新型車を見て回りながら新機構の紹介があり、その中で「このナビはモニターにふれなくてもいいんです」と、モニターに触れず指で決まった形を作り動かすことでオーディオのボリュームが小さくできたり電話に出たりというものを見せてくれました。ドライバーの意図を検知しているのはルームミラー部にある室内用のカメラ。また3日間車を貸出しじっくり試乗してもらうというシステムもありました。



“BMW of Honolulu”にて整備工場を見学

7日目は自由行動だったためオアフ島一周ツアーに参加し、様々な名所巡りのあと夕方はビーチでのんびり過ごし、8日目は“Hawaii Automobile Dealers Association”の講師によるセミナーを受講しました。

講義の内容は大きく2つ。1つ目はハワイで取り組まれているガソリン以外の燃料導入計画について。2つ目は固定概念を持たず発想力を

豊かに今後の仕事につなげる考え方を、遊び感覚で頭と体を使って学ぶもの。どちらも大変ためになるものでした。

最後の夜は全員で夕食会があり、それぞれ視察で感じた事を発表しあい、笑いが絶えない雰囲気での締めとなりました。



最後の夕食会にて

以上、今回の海外視察研修ではアメリカの市場や日本との違いについて多くの事を学べました。また改めて日本の良さを感じることが出来たとともに、アメリカ人の積極性など見習う面も多くあり、非常に有意義なものでした。このような貴重な体験が出来たのも谷口選手・常岡選手、積極的にご協力して下さった両事業場の皆様、熱い訓練・応援をして頂いた支部の皆様、完全バックアップ体制をとってくれた教育課のメンバー、そのほか関係者の皆様のおかげです。今後の成長につなげていきます。本当にありがとうございました。